

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年1月29日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部 商学科
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2026年1月7日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	コロンビア大学(日本語名) Columbia University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年9月～2025年12月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 1月～5月 2 学期: 9月～12月 3 学期: 4 学期:
学生数	30,000人
創立年	1754年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (USD) (1 現地通貨 = 155 円)	B 日本円	備考
授業料	30,888	円	助成金により、留学先への授業料が一部免除(4,000,000 円分)。
宿舍費	3,600	円	
食費	2,000	円	
図書費	120	円	テキスト代
学用品費		円	
携帯・インターネット費	120	円	
現地交通費	500	円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1,500	円	友人との交際費など
旅費(留学中)	1,000	円	
被服費	500	円	
医療費		円	
保険費	2,742	円	形態: コロンビア大学指定
渡航旅費		300,000 円	
ビザ申請費		100,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	42,970 (=6,660,350 円)	400,000 円	
総計(A+B) ※円		7,060,350 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：ラガーディア空港 経由地：デトロイト空港

復路 出発地：ニューアーク・リバティー国際空港 目的地：成田空港 経由地：トロント・ピアソン国際空港、カルガリー国際空港

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：  
料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：デルタ航空 料金：200,000 円

復路 航空会社：エア・カナダ、ウェストジェット航空 料金：100,000                    ∴合計：300,000

### 航空券購入方法

旅行代理店(店名：                    )

インターネット(サイト名：公式サイト、トリップドットコム)

その他(                    )

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前：                    )     アパート     ホームステイ

2) 部屋の形態

個室     相部屋(同居人数                    )

3) 共有部分

バス     トイレ     キッチン( 自炊可     自炊不可)

4) 住居を探した方法：

インターネット

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は外国人大家や外国人シェアメイトとのトラブルを避けたかったため、日本人の大家さんでシェアメイトも日本人の本物件にしました。例外もあるとは思いますが、私の場合は非常に良い方々に出逢うことができ、食事のお裾分けや、一緒にお出かけをするなど、素敵な思い出を学外でも作ることができました。トラブルを避けるためにも1度はzoomなどで大家さんと顔合わせをしておくこと、随時疑問点を伝え、物件を決めるまでに不安なことを解消しておくことをおすすめします。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在ニューヨーク日本国総領事館からのメール

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題がなかった。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行口座を開設してWise経由で送金した。デビットカードを作るため、作成してからはそれを使用していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

アジアンショップもあるため、基本的には無いと思う。もし本当に困ったときはAmazonも利用できるため、手数料はかかるがありがたいと思う。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航後、送られてきた請求書を元に、現地の自分の口座から支払い口座に送金した。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:卒業年度のため。)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他(                    ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:授業によっては、「この授業を履修していないと履修ができない」等の条件があった	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INTRODUCTION TO MARKETING	
科目設置学部・研究科	School of Professional Studies
履修期間	2025 年 9 月～12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義/GW 形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 110 分が 1 回
担当教授	Young Mi Park 教授
授業内容	マーケティングの基礎知識を踏まえ、現在求められる本質的なマーケティングの在り方を、実際の企業マーケティングを参考にしながら理解を深める。グループワークでは、実在する企業を 1 つ選定し、その企業が抱えているであろう課題策定、市場分析、経営戦略、見込まれる収益、タイムラインなどを MECE に取り組みプレゼンをする。
試験・課題等	週課の課題(テキスト準拠、オンライン)、中間プロジェクト、ファイナルプロジェクト
感想を自由記入	私の専攻は商学部であったが、日本では習わなかったような近年のフレームワークなども多く含まれており、自身の知識の補完ができたように思う。ファイナル・プロジェクトに向けて、ほぼ毎週 10 時間ほど授業外で準備する必要があり大変ではあったが、他のコロンビアの学生の情報精度の高さ、資料作成方法など色々と学びが多かった。日本の学生と異なり、文理問わずビジネス、統計、システム言語など幅広い分野に精通しているため、非常にクオリティの高い発表を各グループが行っていた。教授が非常に優しく、私の将来のキャリアについて相談をしたこともあった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INTRO TO STATISTICAL REASONING	
科目設置学部・研究科	FACULTY OF ARTS AND SCIENCES
履修期間	2025年9月～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Ashley Datta
授業内容	「統計とは何か」という前提の理解から始まり、主に標準偏差を使ったデータの分析を行う。
試験・課題等	統計問題(オンライン)4回、QUIZ2回、Mid-term、Final-term
感想を自由記入	明治では統計を履修したことがなかったため、事前に市販の統計に関する書籍を購入し事前学習をした。その甲斐もあり講義内容になんとかついていくことができた。教授は優しいため、講義終わりに質問しに行くことでキャッチアップを図ることもできた。先生のアクセントに当初は苦戦したが、3～4週間ほどで慣れ問題なく聞き取れるようになったので問題はないと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
AI in Context	
科目設置学部・研究科	THE FU FOUNDATION SCHOOL OF ENGINEERING AND APPLIED SCIENCE
履修期間	2025年9月～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	モジュールにより異なる
授業内容	主に5つのモジュールに分けられ、AIの歴史、理論、概念、コーディングなど幅広い分野を扱う。
試験・課題等	講義毎のエッセイ課題、モジュール毎のレポート課題、期末試験、ファイナルグループプロジェクト
感想を自由記入	最も苦戦したのがこの授業であった。特に、Colabを使った課題では、これまでプログラミングをしたことがなかったため、コードのエラーが発生した際に何が問題なのかを解明できず大変苦労した。しかし、日々の課題をコツコツ取り組んだことで、結果として良い成績を得ることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global New York	
科目設置学部・研究科	FACULTY OF ARTS AND SCIENCES
履修期間	2025年9月～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が1回
担当教授	Sarah Miller-Davenport
授業内容	ヨーロッパからニューヨークをはじめとする東海岸への移住に関する部分から始まり、「どうしてニューヨークが世界のシティへと成長したのか」というテーマを中心に、人種、地理、金融など多面的に時系列に沿って分析していく。
試験・課題等	毎週の資料予習(100～200ページ前後)、レポート課題3つ、期末レポート
感想を自由記入	ディスカッション形式のため、聞き取りも発言もしなければならないが、当初は各学生のアクセントへのチューニングが上手くできず、聞き取れないため発言ができないという状況が続いた。しかし、徐々に慣れることで発言数を増やすことができた。講義外でもフィールドワークの時間を設けてくれるなど、ニューヨークへの理解を学術的な視点から非常に深めることができたと思う。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

就活サイト

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

外資系コンサル

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私の場合は就職活動を終えてからの留学であったため、留学による影響などはありませんでした。内定式には参加できませんでしたが、基本的にそれで選考に落ちるなどはないため、きちんと準備を進めていくことが大切だと思います。私が受けた企業は、すべて私の4年次での留学を前向きに捉えてくださったので、問題は無いと思います。留学を就活にしようとする人が多い中で、就活が終わったあとの4年次での留学は本当に学ぶことが好きだという姿勢を伝える良い要因になったとも感じています。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	IELTSの学習
	4月～7月	IELTSの学習
	8月～9月	出願準備
	10月～12月	出願、助成金面接
留学開始年	1月～3月	ビザ取得準備
	4月～7月	履修登録、ビザ面接
	8月～9月	留学
	10月～12月	留学
留学/帰国年	1月～3月	帰国、留学報告会の参加、卒業
	4月～7月	就職
	8月～9月	就職
	10月～12月	就職

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

コロンビア大学に興味を持ったはじめのきっかけは、私が1年生の時に受けた社会学の藤田結子教授(現:東京大学教授)の出身校であるという点でした。商学部在籍のため、社会学には当初あまり関心がありませんでしたが、彼女のエスノグラフィに関する講義が非常に興味深く、そこから「彼女が過ごしたコロンビア大学に行ってみよう」と思うようになりました。コロンビア大学に最終的に決めた一番の理由として、他のトップユニバーシティはサマープログラムが多い中で、コロンビア大学は秋学期に正規の学生とともに学べる協定校だったことが挙げられます。自身の卒業後のキャリアプランから、私にはもっとビジネスの造詣が必要だと感じ、世界のビジネスの中心地であるニューヨークにて、更なる成長を図りたいと思いました。

留學生活のアドバイスとして、キャンパスのそばに住むことをおすすめします。私は「ローカルの生活を体験したい」「家賃を抑えたい」という理由から、大学から1時間15分も離れている場所に住んでいました。しかし、夜間や休日には急行電車が各駅停車になるなどが発生し、結果的に2時間30分ほど帰宅に時間がかかることもありました。そのため、なるべく近場に住むことをおすすめします。マンハッタンの雰囲気は比較的東京に似ているため、東京に馴染みのある方なら、かなり住みやすい街だと思います。課題への取り組みに関しては、慣れないことも多くはじめは苦労すると思いますが、徐々に勝手が分かり遊ぶ時間との両立を図ることができます。

よくホームシックになる人がいますが、私はなりません。理由を考えると、おそらくシェアメイトや大家さんが日本人のため、家に帰れば日本語を話せるという安心感がありました。また、一緒に明治からコロンビア大学に留学をした友人もいたため、常に日本語で相談ができるという環境が整っていた点が大きかったのではないかと感じています。せっかく留学するなら英語だけに囲まれないと考える気持ちもわかりますが、気持ちが沈み、結果的に人との交流ができない方がデメリットだと思います。メンタル管理も留学を成功させる上で、非常に重要な要素だと私は思います。留学先の大学選び、家探し、留学の目的、留学終了後のプランなどを再度考えてみてください。

最後に留学を考えているが、金銭的理由で諦めている学生に伝えたいことがあります。留学を経済的理由で諦める人が多いと思いますが、たとえ物価の高い欧米であっても、明治大学はトップユニバーシティなら助成金、交換留学なら相手先大学の学費を一部出してもらうことが出来ます。そのため、実質的に必要になるのは現地での生活費のみになります。したがって、大学4年間をかけてアルバイトに励み、貯金をすることで、留学の費用をある程度賄うことができます。もちろん、現地でも自炊をメインにし、あまり観光が出来ないなどの制約はあります。ですが、この4ヶ月で得た経験は必ず私の将来に役立つものだと感じています。留学はもはやお金持ちの人だけのものではありません。海外に挑戦してみたいと考えている方は、ぜひ1度明治大学の留学制度や協定校のことを調べてみてください。皆さんの留学が幸多きことを願っています。